

【第29期 第6回 仙台市図書館協議会 資料に対する各委員意見】

1 報告事項

(1) 令和2年度仙台市図書館運営方針・事業計画（資料1）

番号	委員	意見等	仙台市図書館の回答
1	小林直之 委員	資料1「3 令和2年度の重点」の(2)について、学校現場への周知についてはどのような具体策をお考えでしょうか。また、公共図書館においての調べ学習(=児童生徒に、図書館に来てもらってレファレンス等を行う)か、授業や学校図書館(室)においての調べ学習(=学校や学校図書館(室)に、公共図書館の蔵書の貸し出し等を行う)か、どちらをイメージしたのでしょうか。	主には、小中学校の児童生徒が図書館に来館して調べ学習を行う際の図書資料の活用を手助けすることを念頭に置いており、今年度初めて「調べ学習の手引き」を作成しました。各図書館で配布しているほか、学校に対しては、教員用の庁内ウェブによる情報提供を行い、ブックトーク等による学校訪問の際にも先生方に直接お知らせすることを考えています。
2	松本由男 委員	現在も進行中の新型コロナウイルス感染症禍、いわゆる「新たな生活様式」を踏まえた中・長期的な図書館振興のあり方を検討する必要があると考えます。状況によっては、添付にある当該ウイルス感染拡大防止対策に止まらず、資料1の「令和2年度仙台市図書館運用方針・事業計画」中の、第2項「めざす図書館像と実現に向けた4つの方向性」及び第3項「令和2年度の重点」に、何らかの文言を追加することの是非について、状況判断が必要と考えます。	本協議会でのご意見を踏まえ、「令和2年度仙台市図書館運用方針・事業計画」の「令和2年度の重点(3)」につきまして、新型コロナウイルスへの対応について追記することといたします。
3	真壁直人 委員	小さい頃から図書と親しめるよう保育所や幼稚園等への保護者を巻き込んだアプローチが今後さらに大切になってくると思います。本の福袋などの取り組みもさらに充実させていくとよいと思います。 中学校における図書館利用へ向けた声掛け等、さらに、私としても努力してまいります。	ブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」を乳幼児健診の際や、市立保育所、近隣の婦人科クリニック等に配布し、乳幼児の保護者向けに情報提供を行っているほか、児童館や子育て支援施設等と連携し、おはなし会等を積極的に開催しています。また、泉図書館で、昨年度初めて「マタニティおはなし会」を行うなど、妊娠期の親への働きかけも始めたところです。

番号	委員	意見等	仙台市図書館の回答
4	菅原孝代 委員	<p>方向性2の「0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館」としての手立てがもう少し具体的に表記されていると良いと思います。取組内容が「児童コーナーの資料の充実」となっていますが、どんな分野の資料が今後望まれているのか（あるいはこれまで不足していたのか）を明確にして取り組んでいくと良いと考えます。</p> <p>また、今後はお話し会等のイベントへの参加者は少ないと思います。「妊娠期の親を対象としたイベント」も企画されていますが、妊娠されている方は特に外出を控えていくと考えられます。ホームページにお得な情報等を掲載し、ネットで予約してもらおうような現実的な方法への転換が望まれます。</p>	<p>新学習指導要領に対応するため、SDGsやプログラミングの資料を購入したり、オリンピックやパラリンピック関連の資料を充実させるなどの対応をしてきました。今後もいただいたご意見を参考に蔵書の充実に取り組んでまいります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月末までの図書館主催のすべてのイベントを中止としているところですが、今後のおはなし会等のイベントの再開については、感染防止策を講じつつ、慎重に対応したいと考えております。</p>
5	菅原孝代 委員	<p>方向性2の「障害の有無に応じた図書館サービス」に大いに期待しています。視覚障害のあるお子さんが楽しむことのできる絵本の充実を望みます。点字の本だけではなく、音声が出る本や触って楽しむことのできる本が数多く購入されると嬉しいです。</p>	<p>市図書館では、触る絵本や点字付き絵本など視覚に障害のあるお子さんも楽しめる資料を所蔵しており、所蔵リストをホームページに掲載しております。また、マルチメディアデジター（音声とともに文字や画像が表示されるデジタル図書）を個人向けに貸し出しできるように、現在、関係要領の整備や業務手順の整理を進めるとともに、図書のリスト作成も進めています。</p>
6	菅原孝代 委員	<p>方向性2の施策項目4の「学校との連携強化」について。貸出用パッケージを見直すのであれば、今後は各学年の授業の分野や進度に合わせて「並行読書」ができるパッケージが喜ばれると思います。どんなパッケージが望まれているのかの調査を希望される場合には、ご協力できると思いますのでお伝えください。</p>	<p>学校現場のニーズにつきましては、全小中学校や特別支援学校を対象にしたアンケートの実施等により把握に努めておりますが、今後は小中学校の図書館教育部会のご協力もいただきながら、学校との連携を深めていきたいと思っております。</p>
7	菅原孝代 委員	<p>方向性2の「調べ学習用リーフレットの作成」について。現在、小中学校での調べ学習はパソコン・タブレットが主流です。調べ学習のどの部分に図書資料が有効か、調査した上での作成が必要となります。</p> <p>インターネットにはない良さを打ち出していくこと、また、インターネットと並行した活用でより正しい知識が得られる具体例等を記載していかないと、なかなか図書資料の積極的な活用には結びつかない可能性が出てきます。</p>	<p>学校のインターネット等を活用した調べ学習との兼ね合いについては、情報化推進担当部局と調整を進めながら、今後の検討課題としてまいります。</p>

番号	委員	意見等	仙台市図書館の回答
8	杉山秀子 委員	方向性2「0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館」に関連して質問します。これからのおはなし会開催は、どのような形をとって行うのでしょうか。 また、プレママ、プレパパに向けてのイベントの具体的内容を教えてください。	感染予防に配慮したおはなし会開催のあり方については、各館の会場等の状況に応じた対応を検討してまいります。 また、昨年度はじめて泉図書館で妊娠期の親を対象にしたマタニティおはなし会を開催し、絵本の読み聞かせやわらべうた、本の紹介等を行いました。
9	杉山秀子 委員	子どもに本への興味を持たせるには、親（大人）が、まず、本を身近に感じる必要があります。懇談会報告にもありましたが、子育て家庭での二極化はまさにその通りだと思います。図書館に来るのを待っているだけでなく、小学校へのブックトークのように、児童館、保育園への出前的なものをより広く行ってもらいたいです。また、保育士向けへの夜の講座なども考えていただきたいです。	児童館や保育園からの要望に応じて、出張でおはなし会を開催する事業を実施しており、大変喜ばれております。保護者や職員に向けたアプローチにつきましては、今後検討してまいりたいと考えております。
10	杉山秀子 委員	読み聞かせボランティア講座修了後のアフターケア的な場を設けていただきたい。実際にボランティアとして活動している方々との報告（情報交換）・質問等ができれば良いと思います。	読み聞かせボランティア講座修了後に、図書館主催のおはなし会で実践する場を設けているほか、ボランティア団体の情報についてホームページに掲載するなど、活動の場の情報提供を行っております。また、広瀬図書館では図書館で活動するボランティアを対象に情報共有の場を設けたところです。

(2) 令和2年度仙台市図書館予算概要について（資料2）

番号	委員	意見等	仙台市図書館の回答
11	渡辺通子 委員	報告事項4件については、予算縮減を伴いながら各館が諸活動運営をしていると思われました。	予算に限りがある中で、資料の充実に努めながら、中田サービススポットの設置、ツイッターを活用した情報発信、学校貸出図書配送サービスの開始や、読書通帳の配布など、図書館サービスの充実に積極的に進めてきました。 今後も、各館の特色を生かしながら、より一層サービスの充実に努めてまいります。

(3) 令和元年度蔵書点検結果について (資料3)

番号	委員	意見等	仙台市図書館の回答
12	小林直之委員	「I」の不明率の改善 (H30「0.23」→R1「0.10」) は、どのような要因が考えられるでしょうか？このような効果が今後も期待できるのであれば、ぜひ継続していただきたいと思えます。	昨年度、市民図書館と太白図書館に、盗難防止ゲートを導入しました。市民図書館では、平成30年度「0.48%」から令和元年度「0.19%」に減少、太白図書館では、平成30年度「0.31%」から令和元年度「0.11%」に減少し、それぞれ大きな成果が得られました。

(4) 平成元年度仙台市図書館利用者アンケート及び窓口アンケート集計結果 (資料4)

番号	委員	意見等	仙台市図書館の回答
13	渡辺通子委員	アンケート結果から適切な運営がなされていることがわかります。「やや不満」「不満」の声にどう対応していくのか、「参考資料」の利用者からのご意見とあわせて、今後の図書館運営の見直しの具体的な方策 (あるいは抜本的な方策) を立てる際の参考となるように思えます。どのような具体策をお考えでしょうか？	「やや不満」「不満」の声については、特に案内表示について他の項目より多い傾向がみられます。泉図書館では図書の種類別に配架場所をまとめた配架図を掲出したり、宮城野図書館では料理関係の書架の表示を分かりやすく変更するなど、各館で工夫して改善に努めております。今後も、分かりやすい表現等対応してまいりたいと考えております。
14	真壁直人委員	仙台市の各図書館において、利用者の方々から意見を聞きそれをフィードバックしてしっかりと対応し、改善してきていることは大変よいことだと思います。今後もこういった取り組みを続けていくことがとても大切だと考えます。	今後も、利用者のご意見に耳を傾け、より良い図書館サービスの実現に生かしてまいります。
15	真壁直人委員	なかなか難しく、古くて新しい問題でもありますが、本当に図書に親しみまたは図書館を必要とする方々のために閲覧スペースを使えるための方策は、少し厳しめであっても必要だと考えます。	閲覧席につきましては、図書資料閲覧席や自由閲覧席を設けて、必要な方にお使いいただけるようにしております。多くの方が気持ちよく図書館を利用できるよう、利用者マナーの向上に関する啓発や、館内への目配り、来館者への声かけ等を継続してまいります。

番号	委員	意見等	仙台市図書館の回答
16	渡辺祥子 委員	資料4のアンケート集計結果、参考資料の「利用者懇談会」と「ご意見ご要望カードに寄せられた意見」のとりまとめと、それに対しての改善点のまとめに代表される取り組みは、とても有意義なものであると感じました。キラッと光る、運営サイドでは気づかないような貴重な提言もありますので、真摯に耳を傾け、それでいてこびることなく必要なものは出来るところから改善していく姿勢を、これからも大事にして頂きたいと思いました。	実際に、利用者のご意見・ご要望を受けて、いくつかのサービス改善につなげることができました。今後も、利用者のご意見に耳を傾け、より良い図書館サービスの実現に生かしてまいります。

2 その他

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止への対応について

番号	委員	意見等	仙台市図書館の回答
17	小林直之 委員	新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について、サービスの休止や制限が必要とされる中、ツイッターを活用して継続的に情報提供されていらっしゃる姿勢を大変頼もしく感じました。 この非常時下において、読書の持つ価値を再認識したという市民の皆さんも多いのではないかと思います。今後の「アフターコロナ」の時代において想定される生活様式の変化に伴い、図書館サービスの形態も変わることが求められるかもしれません（特に、衛生管理や他者との接触場面、または利用者が必要とされる情報の的確な提供等）。今回のことを、今後のより良い図書館サービスに活かしていくことも、皆さんと一緒に考えていければと思います。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館全館が休館（4/18～5/11）となるなど、ご不便をお掛けしましたが、利用者の健康と安全を第一に考えて実施したものです。 市図書館としても、ご意見にあるように「読書の持つ価値」について再確認する機会になり、ツイッターでの情報発信など、休館中でもできることに取り組みました。今後は、新しい生活様式を踏まえ、感染拡大防止対策を進めてまいります。
18	今野広元 委員	新型コロナウイルスが大流行し、特に「三密」と呼ばれる行為に注意を払う世の中になっております。次回の協議会までに、この「三密」を回避するための計画も盛り込んだ内容があればよいと思います。 生活スタイルが大きく変わってきておりますので、流行前に戻るのではなく、新しい生活を考えた内容にしてほしいと思います。 例えば、ウェブをもっと活用する考え方や動き方が求められると思います。	市図書館としても、今後、「三密」を避ける取り組みを進め、感染拡大防止対策を講じてまいります。 また、ウェブの一層の活用については、郷土資料のデジタル化やせんだいメディアテーク所蔵の映像資料のホームページ掲載等を進めてまいります。

番号	委員	意見等	仙台市図書館の回答
19	渡辺祥子 委員	社会が混迷し、心がキュウキュウとしがちな今、ネット上でのやりとりが主流になっていく今だからこそ、本を通して得られる大きな世界、世界観は更に必要になっていくと思います。啓蒙も含め、誇りを持って業務に取り組んで頂けますよう、お願いいたします。	いただいたご意見を励みに、市図書館としても、本の持つ力や読書の価値を再確認し、より魅力ある図書館運営に努めてまいります。

(2) その他

番号	委員	意見等	仙台市図書館の回答
20	菅原孝代 委員	<p>【情報発信について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もともと図書館を利用する人はホームページを見ますが、利用しない人にはなかなか開いてもらえないと思います。ホームページに「お徳感」を打ち出す方法はないでしょうか。 ・たまにホームページを訪ねる人には、ちょいちょい訪ねてもらえるような仕掛けが必要です。興味関心を高められるように、かわいいアイコンをふんだんに使うなどホームページのプロにリニューアルしていただければどうかと思います。 ・また、季節ごとにイラストや画面全体の色彩が変わることも大切です。「かわいさ」「美しさ」「新しさ」はホームページに欠かせない要素です。 ・全くホームページや図書館に興味がない人に情報発信していくためには、目立つ場所へのポスターの掲示が効果的です。仙台駅や地下鉄の通路などは無理でしょうか。 	<p>図書館を普段利用しない方々に対する利用促進は、課題の一つであると認識しております。今後は、図書館利用者だけでなく、利用していない方々も対象にしたアンケート調査の実施等を通じて、方向性について検討を進めてまいります。</p> <p>また、図書館ホームページにつきましては、ご意見を参考に、魅力向上に努めてまいります。</p>
21	菅原孝代 委員	<p>【体験から読書へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが治ったら、工作などはどうでしょうか。“作る楽しさの体験→工作の本” “理科的な実験→家庭で出来る実験の本” のように体験から始めて様々な分野の本が楽しいことを知らせていくのもよいかと思います。実験については仙台市科学館のホームページに楽しい実験がたくさん紹介されています。(科学館とのコラボ企画等も良いかと思えます。) 	<p>各図書館で、例年、小学生を対象にした工作教室を行っているほか、広瀬図書館では、国立仙台高等専門学校と連携した工作教室を行い、好評をいただいております。いただいたご意見を今後の企画の参考にさせていただきます。</p>